

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	見る力を意識した集団	・3人までの集団で、1年間の取り組みのカリキュラムを考えています。その中から、クラスの子どもに必要な要素を遊びの中に取り入れ、見る力を意識した支援を行っています。	・職員ひとり一人がビジョントレーニングの理解を深め、どの段階のアプローチが必要なかを見極めて支援できるように、職員の研修を行っています。また、カリキュラムの見直しも進めていきます。
2	・担当制(1年ごとに変更)であるので、支援が一貫性を持って進められる。	・担当制であるため、信頼関係の構築が早期にできます。また、支援を段階的に進めることができます。 ・保護者とも密に話しができるため、必要な支援を共有しながら進めていくことができます。	・枠にとらわれずに、必要と感じた支援を保護者、利用者と共に共有しながら進めていきます。
3	・環境グッズの提案	・小学校に向けて、鉛筆・下敷き・定規や椅子の座り方等、実際に机と椅子を使って確認し、必要な道具の提案を行っています。	・活動の中にもグッズを取り入れて評価し、必要性を確認していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童の枠が少ないため、職員の経験値が積みにくい。	・大きな遊具はありません。他の遊具も少なく、室内も狭いです。 ・待機待ちも少ないです。	・施設の構造上、室内の大きさを変えることも大きな遊具を取り入れることもできませんが、創意工夫を凝らして必要なものは作ったり購入したりしながら、支援内容を発信できるようにしていきます。
2	・施設内に壁や隙間が多く、ぶつかったり挟んだり怪我になることがある。	・家の構造と同じため壁で仕切られており、クローゼットの扉など各部屋にあります。 ・クローゼットの中に棚を置いているが、入りたくならない隙間が出てしまっています。	・子供が興味を持ちそうな隙間などは、あらかじめ作らないようにし、整理整頓を徹底することで安全に過ごせる環境を整えていきます。
3	・施設が2階の為、玄関を開けてすぐ階段があり、降りても前がすぐに道路になっている。	・施設が2階にあります。	・施設の構造を変えることはできませんが、手すりに網を設けたり、滑り止めをつけたり、登ったところはシートで覆って柵に登らないように工夫しています。さらに、定期的に点検を行い、安全を確保していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合

公表日 2026年 3月 2日

利用児童数 2

回収数 0

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合				公表日	2026年 3月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・限られたスペースで、大型遊具もない環境の中でもスタッフ間で意見やアイデアを出し合い、支援を実施しています。 ・今年度児童発達支援は最大二人である為、狭くはないと思います。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・スタッフ同士でフォローし合いながら事業所運営をしています。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・個室などは入り組んでいる為、少しわかりにくいかもしれません。 ・設備の都合上バリアフリー化は難しいですが、入ってはいけない場所等は視覚化しています。 ・施設が2階の為階段があります。施設の構造上、また強風が吹く立地の都合上、手すりの高さを確保することが困難なため、階段の手すりに網を取り付けたり、登りきったところに風を通しやすい布をつけたりして安全の確保をしています。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・のびのびと活動を行うには少し狭いと思います。 ・施設の窓はすべて少し開けて換気をしています。毎日の掃除に加え、必要に応じてアルコール消毒をしています。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個室があるため、支援内容や本人の状態などによって利用できるようにしています。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・振り返りや支援内容確認などは、全員参加できるように日程の確保に努めています。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・アンケートなどを通して把握しています。	・頂いた意見に対して検討を重ねていきます。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎日ミーティングを開催しており、各スタッフが意見をアウトプットできるようにしています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	・第三者による外部評価はされていないと思います。 ・第三者による外部評価は実施していません。	・職員に周知します。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・頻度は多くないが、空き時間を活用して活動のアイデアを出し合う、症例検討を行っています。			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・支援のプログラムは、基本の流れとして作成しています。 ・5領域プログラムの公表はホームページでしています。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・半年に1回必ず保護者とのアセスメントを実施し、家庭・園生活の実情を把握した上で、合意目標・支援方針・支援方法を計画しています。	・支援の中でさらにお子様の分析を行い、必要があれば保護者と話し合いを行って、計画書の変更をしていきます。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・作成する際は、児発管と担当者、参加できるスタッフ全員で担当者会議を行い、支援を共通理解できるように検討を行なっています。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・計画会議を実施しているが、参加できていないスタッフへの情報共有は不十分であると思われる為、共有方法を見直していきます。 ・計画書会議にて共有されています。			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	・児童発達支援では検査等は実施していません。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・子どもの困り感などに応じて作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・担当間でのみ実施していることがあります。 ・支援のプログラムは、基本の流れとして作成しています。また、子どものニーズに合わせて活動内容の立案を出しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・同じような活動は、子どもたちが安心して取り組める活動であり、見通しが持ちやすく、取り組みやすいと考えています。その中で一人ひとりに合わせて、レベルアップを行いながら、楽しめるように工夫しています。 ・集団支援枠ではイベントを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・その日の状態に応じていつものクラスで参加できるかを確認し、プログラムの内容を伝えることで見通しをもってもらい、どのように過ごすかをお子様と一緒に考えています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・担当の職員間では頻りに確認を行っていますが、職員全員で共有する機会は少ない為、勉強会や事例検討会を定期開催してきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・担当の職員間では頻りに確認を行っていますが、職員全員で共有する機会は少ない為、勉強会や事例検討会を定期開催してきます。 ・支援終了後には難しくても、次の日には振り返りを行うように努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・担当制ではありますが、事業所に通っていただいている利用者の情報を、職員全員で確認しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年に1度見直しを行っています。	
関係機関や保護者と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	・このような機会がほぼないです。 ・現状関係機関との定期的な連携の体制は整備できていない為、今後連携できる体制作りを整えていけるように努めます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・外部連携は少ないです。 ・関係機関連携加算や保育所等訪問支援等で実施しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	・保護者を通して支援内容を伝えたり、実際に見てもらったりして共有できるようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5	・就学先との情報共有は未実施です。保護者を通じてであれば一部されているかもしないです。 ・このような機会がほぼないです。 ・保護者を通じて連携を計っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

の 連 携	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5	・支援センターとの連携はありませんが、他事業所や相談指導員との交流は行っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	・ありません。 ・チラシなど提示することはあります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・子育てサポートにて話し合いがされていると思います。 ・フィードバックの時等の短時間で相談できない時は、面談の実施をしています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・ペアレントトレーニングは実施していません。	・家族が参加できる研修会を実施していますが頻度はかなり少ない為、ご家族のニーズも把握した上で来年度は定期的な開催を企画していく予定です。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に伝えていますが、内容が変わり次第伝え直しをしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・聞き取りや相談を行う事で意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・サインの前に、内容の説明をし、確認をして頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・子育てサポート支援加算や、家族支援加算等を使用して相談に対応していますが、定期的ではありません。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	・支援の待ち時間は保護者室があるため、保護者での交流は可能です。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・保護者だけでなく、子どもにもアンケートを実施して意見を募り希望・要望に沿った支援を提供できるように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・Instagramへの投稿、事業所内新聞の掲載を実施しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・鍵のかかる場所で保存しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・子どもと保護者の思いをくみ取るよう努めています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	・会社イベントでは実施していますが、事業所の行事では実施していません。 ・地域住民を招待することは、イベントを除きないと思います。 ・法人としては行っていますが、事業所としての対応はしていません。		
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示しています。		
46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・計画を立てて訓練を実施しています。		
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・把握できるよう発達記録の記入をお願いし、一覧表にまとめています。		

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食物を扱うイベント療育の際は必ず児童全員のアレルギーを確認し、必要な対応を行っています。 ・保護者の申し出により確認して対応しています。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を実施し、緊急事態の際の対応や各スタッフの動き、子どもの安全確保、避難経路等を確認しており、実施後は避難の流れと経路を視覚化・掲示し児童にも示しています。 	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明するようになっています。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットが起こった時に協議をし、再発防止できるようにしています。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行っています。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ミーティングの際に身体拘束の有無について参加スタッフ全員で確認を行っており、あった場合には必ず要因と今後の対応方法についても検討を行っています。 	